

1. 教育計画

分野	専門分野 基礎看護学	科目名	診療の補助技術Ⅰ
単位・時間	1単位・30時間（授業28時間）	対象学年	2年生
方法	講義、演習	時期	前期
講師名 (担当授業時間数)	包帯法、苦痛の緩和・安楽確保の技術、呼吸・循環を整える技術、侵襲的処置の介助技術、治療・処置の介助技術 専任教員 松井 さやか（14時間） 感染防止の技術 法人講師 根本 文江（4時間） 生体情報のモニタリング 法人講師 千田 諒（2時間） 生体機能管理技術 法人講師 渡邊 貴子（4時間） X線撮影検査（画像の見方） 法人講師 佐々木 和哉（2時間） 輸血管理 法人講師 青山 克明（2時間）		
講師の実務経験	看護師として星ヶ丘病院に9年、星総合病院に6年		
学習目標	診療に伴う基本的な知識と援助技術を学ぶ。		
成績評価方法	筆記試験 筆記試験 100点（松井 さやか） *授業での提出物・演習態度も評価に加味します。		
使用テキスト	医学書院 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ メディックメディア 看護技術がみえる① 基礎看護技術 メディックメディア 看護技術がみえる② 臨床看護技術		
参考文献			
履修上の留意	*演習で実習室使用時は原則白衣着用となります		
講師からの メッセージ	多職種の講師からの授業があります。また演習も多くありますので、看護職としての役割について考えていきましょう。		

2. 授業計画

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
1	2	包帯法 苦痛の緩和・安楽確保の技術	1. 包帯法、三角巾固定 2. 罨法	講義 演習	松井
2	2	呼吸・循環を整える技術	1. 酸素吸入療法 2. 吸入	講義 演習	松井
3 4	4	呼吸・循環を整える技術	1. 排痰ケア・体位ドレナージ 2. 口腔、鼻腔内吸引 3. 持続的吸引（胸腔ドレナージ）	講義 演習	松井
5	2	侵襲的処置の介助技術	1. 穿刺の介助 2. 洗浄の介助 3. 中心静脈カテーテル挿入の介助 4. 無菌操作	講義 演習	松井
6 7	4	治療・処置の介助技術	1. 膀胱留置カテーテルの挿入・管理 2. 一時的導尿	講義 演習	松井

回	時間	主題	授業内容	形態	備考
8 9	4	感染防止の技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染防止の基礎知識 2. 標準予防策 3. 感染経路別予防策 4. 洗浄・消毒・滅菌 5. 感染性廃棄物の取り扱い 6. 袖付きガウンテクニック 	講義 演習	根本
10	2	生体情報のモニタリング	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心電図 2. 人工呼吸器 	講義	千田
11 12	4	症状・生体機能管理技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検体検査 2. 生体検査 超音波検査、心電図検査、肺機能検査 3. 血糖測定 	講義	渡邊
13	2	症状・生体機能管理技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生体検査（画像の見方） X線撮影、CT、MRI 2. 放射線暴露の防止 	講義	佐々木
14	2	輸血の管理技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血液細胞の役割 2. 血液細胞不足時の補助的療法 3. 輸血用血液製剤の種類と各製剤の使用目的について 	講義	青山
15	2	評価	筆記試験		松井